

認知症サポーターカード について

認知症サポーターへ交付する受講証明グッズの変更について

高齢者支援課

令和3年7月12日

オレンジリングから認知症サポーターカードへの変更の経緯について

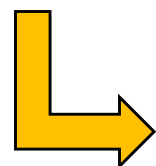
令和2年11月付厚生労働省老健局発出（事務連絡）より抜粋

認知症サポーター等養成事業においては、認知症サポーターの普及啓発ツールとして、認知症サポーター養成講座修了者の証としてオレンジリングを位置づけ、地域共生政策自治体連携機構の努力により無料にて配布してまいりました。

オレンジリングは認知症サポーターの目印に留まらず、認知症の正しい理解の象徴として周知され一定の役割を果たしてきているところ、引き続き、認知症サポーター養成講座修了者の証としてより効果的に活用いただけるよう、

認知症の人に必要な際に提示して安心してもらえるよう、より携帯しやすい形状にすること
認知症サポーターとしての心得を常に振り返ることができるようにしておくこと
地域性や創意工夫を生かしたものとすることで、認知症サポーターが地域の一員としてより身近に感じられる効果が期待できること

との観点から、令和3年度以降、認知症サポーター養成講座修了者に対し、原則無料で共通的に交付する普及啓発促進ツールは、「オレンジリング」に代え、各養成主体で作成する「認知症サポーターカード」としていただきますようお願い申し上げます。



認知症サポーターカードの作成方法（別添資料）に準じて
練馬区版認知症サポーターカードを作成

認知症サポーターの証として 「認知症サポーターカード」の配布開始

オレンジリングの無料配布終了（R2年度末）に伴い新たに認知症サポーターカードを作成しました！

練馬区のデザインには地域包括支援センターを利用する区民の方が作成したオレンジロバ（認知症サポーターキャラバンのキャラクター）を採用しています。

（表）



認知症サポーターとしての心得を確認！

（裏）

認知症サポーターキャラバンとは...

全国キャラバン・メイト連絡協議会では、自治体等と協催で認知症サポーター養成講座の講師役（キャラバン・メイト）を養成しています。キャラバン・メイトは自治体等と協働して「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

認知症の人への接し方3つの「ない」

① 驚かせない ② 急がせない ③ 自尊心を傷つけない



なまえ

接し方の7つのポイント

- ① まずは見守る
- ② あわてず、えがおで
- ③ 声をかけるときは1人で
- ④ 後ろから声をかけない
- ⑤ やさしく話す
- ⑥ おだやかに、はっきりした話し方で
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する